

第1回日本アスレティックトレーニング学会 学術集会開催にあたって



日本アスレティックトレーニング学会代表理事

第1回アスレティックトレーニング学会学術集会会長

山本 利春 (国際武道大学 体育学部/大学院 教授)

第1回日本アスレティックトレーニング学会学術集会を平成25年2月3日(日)、笹川記念会館(東京都)で開催する運びとなりました。

当学会は、河野一郎、福林 徹両顧問、そして全国各地および様々な競技団体で日本のトレーナー界を支えてきた方々の御支援のもと、去る平成24年6月9日、第1回設立総会(場所:国立スポーツ科学センター)において誕生しました。

「スポーツは、世界共通の人類の文化である」の考えに基づきスポーツ基本法が制定され、スポーツの発展とともに、スポーツによる事故防止についても掲げられています。将来社会における、さらなるスポーツ文化の発展に向けて、スポーツ活動をする人々の健康管理、安全確保への働きかけが一層求められます。また、現在我が国におけるアスレティックトレーナーの活動範囲と内容の拡大にともない、その存在が社会的に認知されつつあり、アスレティックトレーニングの領域に対する時代の関心と研究への期待はますます増大しております。

このような社会的背景から、アスレティックトレーナーがアスレティックトレーニング学の確実な根拠を提示し、学術的活動を推進することが重要な課題のひとつであり、社会的ニーズも高まってきております。日本アスレティックトレーニング学会は、アスレティックトレーニングの領域に関わる健康・スポーツ・スポーツ医科学の普及・発展に寄与することを目的として設立されました。

学会は研究者の自由な討議・情報交換の場ではありますが、その継続と発展は組織的に検討し続けなければなりません。また、より高い能力を持ち、魅力的で使命感あふれた多くの優れたアスレティックトレーナーや研究者が生まれることを目指すことも必要です。

そこで、第1回学術集会のテーマは「アスレティックトレーニング学の体系化に向けて」としました。

シンポジウムでは、そのテーマを題材に、「現場での実践者の立場から」として、スポーツ医療現場を中心にご活躍されている岡田 亨先生(船橋整形外科病院)、スポーツフィールドでご活躍の杉山ちなみ先生(リボンプロジェクト)のお二人に、また「トレーナー教育の立場から」として、大学において長年トレーナー教育に携わっておられる中村千秋先生(早稲田大学)、「研究者の立場から」として、スポーツリハビリテーションに関する研究をはじめとした多くの研究業績をお持ちの浦辺幸夫先生(広島大学)にご講演いただきます。

また、学会指定演題発表では、積極的な研究活動を行っているアスレティックトレーナーの方々(学会より指名させていただいたの方々)に今後のアスレティックトレーニング学の試金石となり得る多角的な研究成果をご発表いただきます。

第1回の学術集会が充実した大会になるよう大会事務局員一同、尽力し、みなさま方を歓迎いたします。多数の方々のご参加を心よりお待ちしております。